



# 第62回全国消防技術者会議の開催について

## 消防研究センター

消防研究センターでは、「第62回全国消防技術者会議」として、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「消防防災研究講演会」と、全国各地の消防本部等により実施された火災・危険物流出等の事故に関する調査

事例を発表する「全国調査技術会議」を下記のとおり開催いたします。また、「平成26年度消防防災科学技術賞」の表彰式および展示発表を行いますので、併せてご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

1	開催日	第1日 平成26年11月20日(木) 第2日 平成26年11月21日(金)
2	場所	ニッショーホール(日本消防会館) 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	参加費	無料(募集定員は、両日とも各600人)
4	内容	11月20日(木) 10:00～17:00(予定) 消防防災研究講演会 「火災原因調査への取り組みと調査技術の高度化」 火災や爆発事故が発生した場合において、その原因を究明し、再発防止、被害の軽減等を検討し対策に反映させることが極めて重要です。一方、近年の火災や爆発事故は複雑多様化しており、発生メカニズム、延焼拡大過程等の解明には、高度な科学的な知見や検証作業がますます必要となってきています。このため、平成15年に消防法が一部改正され、消防庁長官の火災原因調査が、従来の消防長等から求めに依るだけでなく、消防庁長官自らの判断により実施できるようになりました。また平成20年には市町村長等の危険物の漏洩事故に関する原因調査権が制定されるとともに、平成25年には消防長等の製品火災に関する火災調査権が拡大されています。消防研究センターでは、火災や漏洩事故の原因調査体制の整備を図り、長官調査の実務を担うとともに、消防本部の原因調査の技術支援を多数実施してきました。 本講演会では、東京大学の土橋律教授に、「火災・爆発災害の燃焼現象としての理解－発生過程と被害拡大過程－」と題してご講演頂くとともに、消防研究センターが実施してきた最近の長官調査等の火災調査事例を報告し、今後の火災原因調査技術の高度化に向けた取り組みについて議論する予定です。  11月21日(金) 10:00～17:00(予定) 全国調査技術会議 全国の消防本部において実施された様々な調査事例を発表していただきます。
5	プログラム	消防研究センターのホームページ( <a href="http://nrifd.fdma.go.jp/">http://nrifd.fdma.go.jp/</a> )をご覧ください(「イベント情報」の欄の「【技術】第62回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。
6	参加申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。 <URL> <a href="https://ez-entry.jp/62_gijutsusha/entry/">https://ez-entry.jp/62_gijutsusha/entry/</a> なお、上記の方法により申し込むことが難しい場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。
7	参加申込み期間	8月18日(月)から11月17日(月)まで (但し、各日定員になり次第締め切ります。)
8	問い合わせ先	消防庁 消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL: 0422-44-8331 FAX: 0422-44-8440 E-mail: 62_gijutsusha@fri.go.jp